



5月号

平成29年4月28日発行

荇田小だより

横浜市都筑区荇田南町694番地 [Tel.911-0149]

アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]

熊本大分地震から一年

副校長 高城 剛

昨年の5月号では熊本大分地震について書きました。複数回におよぶ震度7の大きな揺れ、道路や橋などインフラの寸断、熊本城の石垣の崩落など大変衝撃的な災害でした。約一年がたち、復興も進んでいますがまだまだ、応援や支援が必要だと思います。荇田小学校では今年度一回目の避難訓練が行われました。地震を想定した訓練でしたが、みんな緊張感をもって静かに落ち着いて避難することができました。1年生も初めてでしたがヘルメットをカバーから取り出し、しっかり着用することができました。ご家庭でのご協力のおかげだと思います。今後も子どもたちが防災意識をもって「自分の命は自分で守る」ことができるよう指導していきます。



鉄棒の思い出

私は小学校2年生のときに逆上がりができないことが恥ずかしくて、勝手に家に帰ってしまったことがありました。当然母親は「はやく学校にもどきなさい。」と怒り、とぼとぼ登校したのを覚えています。どちらかという体育は苦手であり好きではありませんでした。昔の体育は克服型や勝ち負け重視型の傾向がありました。8段の跳び箱を跳ぶ子や両手離して鉄棒をぐるぐるまわる子を羨望のまなざしで見っていました。クラス対抗のドッジボールで負けた時は担任の先生が「私は恥ずかしい。何でもっとすばやく動けないの。」と本気で怒っていたのを覚えています。

そんな小学校の体育もずいぶん変わってきました。鉄棒やマット運動はその子自身のため設定やできるようになったことを大事にしたり、ボールゲームも仲間との協力や楽しむことを主眼に置いたりするようになりました。体育を生涯スポーツにつなげることも学校の役割になりました。荇田小で行うボールゲームも「サッカー」「バスケット」だけでなく「タグラグビー」「タワーボール」「プレルボール」「ソフトバレーボール」「ティーベースボール」などみんなが楽しめるゲームが盛りだくさんです。名前だけではわからないゲームも多いのでぜひ、お子さんに聞いてみてください。

今、この瞬間も校庭で一生懸命走って、仲間を応援している子どもたちの姿が見えます。体育やスポーツが子どもたちの体力健康向上や仲間づくりに役立ってくれることを願います。

ちなみに私の逆上がりですが、見かねた父親が日曜日に学校の鉄棒に連れて行き、特訓の末2年生のうちに行えるようになりました。

